



みなみ小だより

学校教育目標

学び合う子

助け合う子

鍛え合う子

学校だより 3月号
鹿沼市立みなみ小学校
TEL 0289-75-4021
令和3年3月発行
文責：後藤 勝浩



★みなみ小ホームページへ

1年間、大変お世話になりました。

全国一斉の臨時休校でスタートした令和2年度。子どもたちにとっても社会全体にとっても、これまでにない毎日の連続でした。そんな中でも、みなみ小の子どもたちは、生き生きと学校生活を送りました。保護者の皆様や地域の皆様にその姿を直接見ていただくことができなかったのは残念ですが、来年度こそは、心身ともに成長している“みなみっ子”の姿を、多くの場面でご覧いただきたいと思っております。

この3月号の紙面では、今年度、学校生活の様々な場面でリーダーシップを発揮して活躍した6年生に関する内容を多く取り上げました。

1年間、子どもたちと学校を見守り支えてくださった皆様、ありがとうございました。

第40回 みなみ小学校卒業証書授与式

桜の蕾も膨らみ始めた3月18日(木)、第40回卒業証書授与式を挙行いたしました。PTA会長様と保護者の皆様、教職員、6年生とで実施しました。24名の卒業生は、立派な態度で式に臨み、本校を巣立っていきましました。歌を歌うことはできませんでしたが、呼びかけの言葉に6年間の想いを乗せて、思い出に残る卒業式にすることができました。進学した中学校で、自分らしさを発揮して活躍してくれることを信じています。



6年生の奉仕活動

●3月4日(木)、総合的な学習の時間に「卒業に向けて」という学習の中で、地域への奉仕活動を行いました。周囲の方や地域の皆様への感謝の気持ちを表そうと、通学路や公園のごみ拾いに一生懸命に取り組みました。



6年生から下級生へプレゼント

●3月3日(水)、6年生から下級生に卒業記念の品物の贈呈がありました。給食の時に使う物をプレゼントしてくれました。使う時には、多くの場面でリーダーシップを発揮しお世話をしてくれた6年生の姿を、思い出してほしいと思います。



令和2年度 北押原地区小中連携教育の成果と課題について

●北押原地区の3小中学校（北押原小・みなみ小・北押原中）では、「自ら学び、思いやりのある、たくましい子どもの育成」を「目指す子ども像」に掲げ、小中連携教育【2年目】に取り組んでまいりました。その成果と課題については以下の通りです。

【成果】

- 聞くこと・話すことについて、児童生徒への意識付けを図ることができた。
- あいさつについての強化週間を設定したことで、あいさつの大切さについて考えさせることができた。あいさつをする児童生徒が増えてきた。
- 学校行事において個人の目標を設定し振り返りを行った。その結果、達成感をもつ児童生徒が大半だった。また、クラスの絆が深まったり、仲間を尊重したりする姿が見られた。

【課題】

- ▲あいさつや自分の考えを自分の言葉で表現する力を、さらに伸ばしていくことが必要である。
- ▲家庭や地域との連携を深めながら、小中連携教育を発展的に継続させていきたい。



6年生を送る会

●2月18日（木）、計画委員と5年生が中心となって企画運営を行った「6年生を送る会」が開かれました。とても素敵な温かい会となりました。6年生だけでなく5年生にとっても、大きな意義のある一日となりました。



6年生から5年生へ

●3月5日（金）のいきいきタイムの時間、「旗」の引継ぎ式を行いました。6年生が先輩から引き継いだ「旗」を5年生に引き継ぐことで、「旗」と共に学校のリーダーとしての役割や自覚を引き継ごうとするものです。



東日本大震災の弔意表明

●東日本大震災の発生から10年目となる3月11日（木）に、哀悼の意を表すため、黙とうを捧げました。各学年では、「命の大切さについて」、「復興に見る人間の力強さについて」、「自然災害の恐ろしさについて」、「主体的に自分の命を守ることにについて」などを子ども達に伝えました。



お知らせ

- ①来年度は、登校時刻や下校時刻を少し早める予定です。今年度とは日課が多少異なりますのでご留意ください。
- ②来年度も感染症対策を行いながらの学校生活のスタートとなります。ご理解とご協力をお願いいたします。